

2024

12月7日(土)

文京シビックセンター26階
スカイホール

入場無料

戦後80年テーマ

未公開戦争体験記録のアーカイブ化と公共利用実現への道
連続企画 第一弾

13:00
~14:20

テニアン島の戦場体験

佐藤孝則さん (1930年生、94歳)

3歳の時、家族でテニアンに移住。1944(昭和19)年、米軍のテニアン島上陸を体験。家族とはぐれ、日本兵と行動。砲撃を避けて島内を逃げるうちに、艦砲射撃の砲弾の破片、米軍手榴弾の破片、銃撃を身体に受ける。

14:40
~16:10

講演 テニアン島・サイパン島の 戦場体験を30年間取材して

太田直子さん (1964年生、映像ディレクター)

玉砕の島を生き延びた日本人移民家族らを長期に渡り取材し、彼らの遺言ともいうべき300時間に及ぶ貴重な証言映像をもとに、極限の戦場を描いた番組を制作。NHK ETV特集「“玉砕”の島を生きて～テニアン島 日本人移民の記録～」、NHK ETV特集「“玉砕”の島を生きて(2)～サイパン島 語られなかった真実～」2022年に第22回 石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞、第38回ATP賞テレビグランプリドキュメンタリー部門最優秀賞を受賞。

アクセス

東京メトロ 後楽園駅
丸ノ内線(4a・5番出口)、南北線(5番出口) から徒歩1分
都営地下鉄 春日駅
三田線・大江戸線(文京シビックセンター連絡口)から徒歩1分
JR 総武線 水道橋駅(東口)
東口から徒歩10分

参加申込

いずれかの方法で
お申込みください



◆QRコードをスマホで読み
込みウェブフォームを開き、
お名前をご記入ください。
※保存の会HPにもリンクあり

◆メールかFAXでお名前を
ご連絡下さい。お電話でのご
連絡は、なるべく土日祝日に
お願いします。

イベント

11/17(日)
19:30~

証言動画を見る会「サイパン島の戦い」

ウェブ会議システム(ZOOM)を使って開催します。
QRコードを読み込み、申込フォームにお名前とメールをご登録
下さい。保存の会のホームページからもお申込みできます。



主催

公益社団法人マスコミ世論研究所内
戦場体験放映保存の会

〒114-0023 東京都北区滝野川6-82-2
TEL 03-3916-2664 (火木土日祝 10時~17時)
FAX 03-3916-2676
e-mail senjyou@notnet.jp
戦場体験史料館HP <http://www.jvvap.jp>

講演者ご紹介

◆佐藤孝則さん

1930(昭和5)年12月18日生まれ。1933(昭和8)年、祖母と両親と共に一家でテニアン島に移住。1944(昭和19)年2月に初空襲、6月11日には激しい空襲と艦砲射撃が始まる。夜になると、テニアン島の洞窟からサイパン島の火砲、照明弾等が見えた。明るくなると艦砲射撃、夜は照明弾。43日間、夜昼なく攻撃が続いた。1944(昭和19)年7月24日、米軍上陸、島内を逃げ惑う。いつでも死ぬるように爆薬を持っていたが、親父が爆薬を捨てた。島内の水源を指して島内を移動するが、途中、祖母と生後2ヶ月の弟が衰弱死。その後家族とはぐれ、出会った日本兵と一緒に援軍の迎えを信じて島内を逃げた。1945(昭和20年)1月ごろに敗残兵に投稿の要領を教えられて投稿。収容所で家族と再会できた。

◆太田直子さん

1964年生まれ。東京都出身。高校非常勤講師、書籍編集などの仕事を経て映像の仕事に携わる。
<代表作>

ドキュメンタリー番組「“玉砕”の島を生きて～テニアン島日本人移民の記録～」

(製作会社:グループ現代、NHKエンタープライズ/放送:NHK Eテレ)

戦前多くの日本人移民が暮らしたテニアン島での壮絶な戦場体験から生還した人々を20年以上にわたり取材。放送文化基金賞優秀賞、ギャラクシー賞優秀賞、第38回ATP賞テレビグランプリ、第22回早稲田ジャーナリズム大賞ほか受賞。

ドキュメンタリー映画「月あかりの下で ～ある定時制高校の記憶～」

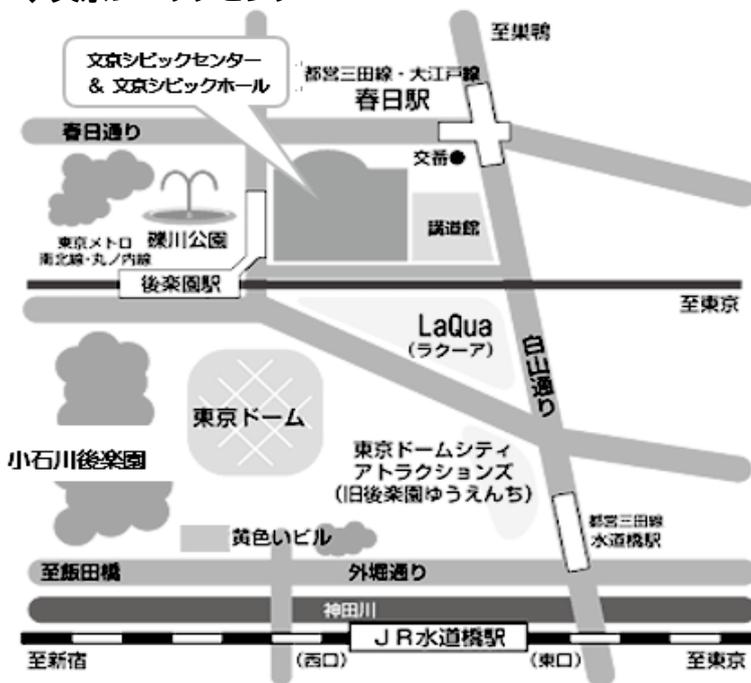
2002年4月から2008年3月まで浦和商业高校定時制の撮影に通った労作。2010年文化庁映画賞・文化記録映画優秀賞、日本映画ペンクラブ第一位を受賞。

ETV特集
「“玉砕”の島を生きて」
はNHKオンデマンドで
視聴できます。

再編集版の「“玉砕”の島
語られなかった真実」は
U-NEXTで視聴できます

会場アクセス

◆文京シビックセンター 東京都文京区春日1-16-21



東京メトロ 丸ノ内線
南北線

都営地下鉄 三田線・大江戸線
JR総武線

後楽園駅 (4a・5番出口)

後楽園駅 (5番出口) 徒歩1分

春日駅 (文京シビックセンター連絡口) 徒歩1分

水道橋駅 (東口) 徒歩9分

戦場体験放映保存の会について

戦場体験放映保存の会

2004年12月に設立。アジア太平洋戦争の戦場体験を主に動画で後世に遺す活動を行っています。元兵士・軍属の方々、沖縄や敗戦時の満州など、戦場となった地域におられた民間人の方々からの聞き取りを行っています。体験者自身が呼びかけの先頭にたち、戦争を知らない世代のボランティアが収録活動にあたる老若一体の活動を展開中です。体験記録は「戦場体験史料館・電子版」
<<http://www.jvvap.jp>>で順次公開中。

無色・無償・無名

私たちは「無色、無償、無名」を固い原則にしています。どんな立場の方も、どんなご意見の方も、ただ戦場体験を語り継ぐ一点だけで手を繋ぎあいます。戦争の極地であった戦場がドラマや将軍の戦記物のみで伝わることを避け、名もなき我々の声を残しておきたいのです。

主催

公益社団法人マスコミ世論研究所内

戦場体験放映保存の会

〒114-0023 東京都北区滝野川6-82-2

TEL 03-3916-2664 (火木土日祝 10時～17時)

FAX 03-3916-2676

e-mail senjou@notnet.jp

戦場体験史料館HP <http://www.jvvap.jp>